発　行　所
〒862-8676
熊本市大江５丁目２－１
九　州　学　院
TEL（096）364-6134
FAX（096）363-2576
http://www.kyugaku.ed.jp/
発行人　内　村　公　春
編輯人　小　手　川　　勲
印刷所　㈱河田印刷
熊本市近見８丁目５－105
TEL 096－353－1049

九学通信

2010年度年間聖句

**思慮深くふるまい、
身を慎んで、よく祈りなさい。
何よりもまず、
心を込めて愛し合いなさい。**

ペトロの手紙（一）4章7～8節

Therefore be serious and discipline yourselves for the sake of your prayers.Above all,maintain constant love for one another.
I Peter4:7 ～ 8（NRSV）

Take a chance on you!
…自分にかけてみなさい…

チャプレン　富島裕史

テレビの電源をいれると「手紙～拝啓15の君へ～」の歌で知られているアンジェラ・アキさんが出ていました。「こころの遺伝子」というNHKの番組です。日本で生まれた彼女は中学校卒業後、アメリカに渡り、高等から大学へ進学します。大学在学中にシンガーソングライターになろうと心に決め、卒業してから昼間はオフィスで働き、夜はバーやライブハウスで歌うという二重生活を始めます。しかし、だんだん自分が何のためにここまでやっているのか、わからなくなってしまうのです。そんなある日、アンジェラさんは会社の上司から呼び出されます。「何でこの会社で働いているのですか。」叱られると思ったアンジェラさんでしたが、上司が言った言葉は「Take a chance on you！（自分にかけてみなさい）」という助言でした。その上司はアンジェラさんのライブステージを見て、彼女の才能に気がついたからです。アンジェラさんは、その言葉を受けて自身の夢を改めて見つめ、自分にかける覚悟を決めます。日本でのデビューを決めた彼女は、ライブ活動やレコード会社まわりを続け、ついに念願の日本武道館で初の弾き語り単独ライブを実現させたのです。アンジェラさんがスタジオに持参した紙には、「目指せ　武道館」「勇気・ガッツ・規律・夢」と書かれたものがありました。自分にかけるためには、勇気とガッツが必要で、がむしゃらにやるのではなく、規律が必要だと語っていました。「Take a chance on you！」私も皆さんに贈りたい言葉です。自分を信じる勇気とガッツをもって、自分にかけてみましょう！人生は一度ですから・・・。

「原点を踏まえて」

九州学院　院長　内村公春

幼稚園の新入園児21名、中学120名、高校355名の新入生を迎え、今年度がスタートしました。そしていよいよ来年には、創立百周年を迎えることになります。そのためにいま様々な計画を進めています。記念事業として計画しました2号館の改修工事を今年の夏休みに行いますし、秋から新体育館建設のための遺跡調査及び体育館建設を行う予定です。また、礼拝、記念式典などの行事や百周年記念史の編纂などの事業に向けて、それぞれの委員会で取り組んでいます。しかし一番大事なのは九州学院全体の教育を見直すという作業です。そういう意味をこめて、学院全体の教育の柱として「原点を見据えて」という言葉を置きました。

初代院長の遠山参良先生は、創立二十周年記念誌の巻頭言で、その後の九州学院の歩みについて次のように書かれています。

「餘りに前途の希望に燃えて居る我等は、寧ろ是より益々理想を高くし、愈々深く根底を養ひ、学院本来の使命たる役に立つ善人、即ち他人の監督を要せざる自主自立の人物養成に邁進すべきである。」

私学にとっての冬の時代の中、キリスト教学校である九州学院の具体的な教育目標を何度も何度も振り返りながら、日々の教育活動に携わっていくことの重要性を、あらためて共に心に刻みつけたいと思います。

5月、嬉しい出来事がありました。それは日本福音ルーテル教会総会でお会いしたルーテル学院大学のマッケンジー先生から、九州学院の創立者の一人であるブラウン先生のお墓の写真をいただいたことです。ブラウン先生は、九州学院創立後アフリカ伝道視察に向かわれ、リベリアの地で病に倒れ天国に召されたのです。マッケンジー先生は、そのリベリアに派遣されている宣教師の方と偶然会う機会があり、その方からその写真を貰ったということでした。それまではお墓のおよその場所は分かっていても、お墓を見た人に会ったことがなく、もちろんお墓の写真も見たことがなかったので、心より感謝しました。そのお墓には、ブラウン先生の地上における歩みを示す次の聖書の言葉が書かれています。

〝友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない。わたしの命じることを行うならば、あなたがたは私の友である。〟（ヨハネによる福音書15所の13～14節）

この1年も、神さまの導きとお支えを祈り、共に歩んで行きたいと思います。

魁星旗 全国高校剣道男子 九学が4度目の優勝

3月29日～31日、秋田県立武道館で行われた、魁星旗全国高校剣道大会で、九州学院が一昨年に続き4度目の優勝を果たしました。

準々決勝で東郷知大選手が、全国選抜大会優勝の安房（千葉）を大将戦で破りベスト4へ。準決勝は東福岡（福岡）に快勝し、龍谷（佐賀）との決勝は副将の辻昌太選手が粘り勝ちして何とか大将戦に持ち込み、東郷選手が延長戦を制しての優勝でした。

全国選抜でベスト8でのよもやの敗退の悔しさを胸に、全員が一丸となっての勝利でしたが、「選抜大会の無念を晴らすのは夏のインターハイを制すこと。」と、決意新たに全員で優勝を誓いました。

新潟・弥彦高校駅伝 九学が初優勝

3月27日に新潟県弥彦村営陸上競技場付属マラソンコースで行われた、全国選抜招待第18回高校駅伝弥彦大会で、63校が出場した男子は九州学院（久保田、岡本、児玉、高木、吉田、井上、渡邊）が2時間10分51秒で見事初優勝を飾りました。昨年は3位に入賞し、今年は下馬評でも九学の優勝が上がっており、期待に応えての優勝でした。年末の都大路での活躍が大いに期待されます。

オープンキャンパス

九州学院高等学校
8月21日（土）
10:00～（市内中学生対象）
14:00～（市外中学生対象）

九州学院中学校
9月25日（土）
13:00～

■学校案内
Eメール
info@kyugaku.kumamoto.kumamoto.jp
ホームページ
http://www.kyugaku.ed.jp/

募金に関するお願い

◎寄付金を銀行ATMから振り込まれた場合、別途ご一報いただきますと大変助かります。ATM振込みの場合、住所、氏名等の確認が十分にできませんので、どうぞよろしくお願いいたします。

◎個人は所得税の優遇措置があります。加えて「条例の定め」のある自治体では個人住民税の優遇措置も受けられます。なお、法人は寄付金の全額損金算入ができます。

運動クラブの戦績（3月15日～7月1日）

水泳部

全九州春季大会（3月30・31日）
〈アクアドーム〉
▽100m背泳ぎ
5位 菅原 孝義（2年）
▽100mバタフライ
1位 池端 宏文（3年）
5位 藤本 寛大（2年）
▽100m自由形
2位 福島 拓朗（2年）
▽100m平泳ぎ
5位 西浦 諒（3年）
▽200m平泳ぎ
1位 菅原 孝義（2年）
▽200mバタフライ
1位 工藤 慈士（2年）
2位 原本英太郎（3年）
4位 藤本 寛大（2年）
▽200m自由形
4位 福島 拓朗（2年）
6位 米満平四郎（3年）
▽200m平泳ぎ
1位 松浦 佑紀（2年）
2位 西浦 諒（3年）
▽200mメドレーリレー
2位 菅原 孝義（2年）
西浦 諒（3年）
池端 宏文（3年）
福島 拓朗（2年）
▽50m自由形
1位 池端 宏文（3年）
▽200mFリレー
2位 吉田 幸樹（3年）
池端 宏文（3年）
福島 拓朗（2年）
松浦 佑紀（2年）

県選手権兼団体予選（6月26・27日）
〈アクアドーム〉
男子の部
▽200mバタフライ
2位 工藤 慈士（2年）
4位 原本英太郎（3年）
5位 藤本 寛大（2年）
▽200m背泳ぎ
2位 中川 弘之（1年）
3位 菅原 孝義（2年）
▽200m平泳ぎ
2位 松浦 佑紀（2年）
4位 西浦 諒（3年）
▽200m自由形
3位 池端 宏文（3年）
4位 福島 拓朗（2年）
▽100m平泳ぎ
2位 松浦 佑紀（2年）
6位 工藤 慈士（2年）
▽100mバタフライ
1位 池端 宏文（3年）
4位 藤本 寛大（2年）
6位 西浦 諒（3年）
▽100m背泳ぎ
5位 中川 弘之（1年）
▽100m自由形
1位 池端 宏文（3年）
4位 福島 拓朗（2年）
▽200m個人メドレー
3位 原本英太郎（3年）
▽400m自由形
3位 福島 拓朗（2年）
▽50m自由形
4位 田上 勇気（1年）
▽50m背泳ぎ
2位 中川 弘之（1年）
3位 本田 翼（1年）
4位 益田 滉士（1年）
▽50mバタフライ
3位 藤本 寛大（2年）
女子の部
▽200m自由形
1位 宮本 靖子（1年）
▽100m自由形
1位 宮本 靖子（1年）
▽400m自由形
5位 弦巻かなえ（2年）
▽800m自由形
5位 弦巻かなえ（2年）

卓球部

県高校総体（5月28・30日）
〈市総合体育館〉
▽団体 2位

熊本市高等学校空手道競技大会（4月18日）
〈熊本県崇城大学〉
▽女子団体組手
2位

第37回熊本県空手道個人選抜選手権大会（6月6日）
〈八代市総合体育館〉
▽少年男子団体組手
3位 田代 峻（3年）

空手道部

第29回全国高等学校空手道選手権大会（3月27日）
〈宮城県セキスイハイムスーパーアリーナ〉
▽女子団体組手
5位
▽女子個人組手
2位 吉安 珠貴（3年）

第27回火の国旗全国高等学校空手道優勝大会（5月4日）
〈熊本市総合体育館〉
▽男子団体組手
5位
▽女子団体組手
2位
▽男子団体組手
2位

第42回九州ジュニア柔道体重別選手権熊本県大会（6月5日）
〈山鹿市総合体育館〉
▽60kg級
2位 園田 討生（2年）
3位 藤田慶士郎（3年）
▽73kg級
2位 森 雅顕（2年）
5位 松岡尚三郎（2年）
▽81kg級
5位 砂光彰太郎（2年）
▽90kg級
優勝 宮川 力一（3年）
▽100kg級
3位 竹下 貴昌（3年）
▽100kg超級
4位 中野 瑞紀（2年）
▽少年女子個人組手
2位 吉安 珠貴（3年）
3位 赤木 希（3年）
▽少年男子個人形
2位 福山 博貴（1年）
▽少年女子個人形
2位 赤木 希（3年）

ラグビー部

久万高原町長杯ラグビーフットボール大会（3月25日～28日）
〈愛媛県久万高原町〉
準優勝

熊本県ラグビー協会長杯大会（4月10日～17日）
〈熊本県〉
優勝

九重町長杯ラグビー大会（5月3日～5日）
〈大分県〉
優勝

柔道部

第13回九州高等学校新人柔道大会（11月21日）
〈諫早市小野体育館〉
▽100kg超級
5位 佐伯 勇磨（3年）

第32回全国高等学校柔道選手権熊本県大会（1月30・31日）
〈八代市総合体育館〉
▽団体
3位
▽60kg級
5位 藤田慶士郎（3年）
5位 園田 討生（2年）
▽66kg級
5位 藏原 将之（3年）
▽81kg級
5位 森 雅顕（2年）
▽90kg級
優勝 宮川 力一（3年）
2位 田上 勇磨（3年）
▽無差別
3位 佐伯 勇磨（3年）
5位 古本 大周（2年）
5位 井上準一郎（2年）

弓道部

平成22年度熊本市地区高等学校弓道大会（4月25日）
〈熊本市南部総合スポーツセンター弓道場〉
▽男子団体
優勝
▽男子個人
2位 江嶋 大輔（3年）

全九州高校体育大会（6月19・20日）
〈鹿児島アリーナ〉
▽団体
準優勝
▽73kg級
5位 森 雅顕（2年）
▽90kg級
5位 宮川 力一（3年）
3位 佐伯 勇磨（3年）
3位 島本 真志（1年）

ハンドボール部

全国選抜大会（3月25日～）
〈岩手県花巻市〉
▽一回戦vs北陽
勝利
▽二回戦vs愛知
敗退

全九州県予選大会（4月18日）
〈鹿央公民館〉
優勝

バスケット部

南九州大会予選（4月11・17・18日）
〈東海大二〉
2位

南九州大会（4月24・25日）
〈大分県〉
5位

女子陸上部

市内高校陸上競技大会（4月11日）
〈水前寺競技場〉
▽400m
5位 山下 五月（3年）
▽800m
5位 阪本 南（3年）
▽100mH
優勝 藤本 優未（2年）
▽走高跳
優勝 古川 彩香（1年）
▽4×400R
8位 阪本・藤本
山下・渡辺
▽3000mW
3位 藤田 侑子（3年）

熊本県私学陸上大会（4月29日）
〈水前寺競技場〉
▽100m
優勝 藤本 優未（2年）
▽800m
優勝 阪本 南（3年）
▽砲丸投
優勝 阪本 南（3年）
▽やり投げ
7位 西島 薫美（2年）
▽円盤投げ
2位 角田芽比呂（3年）
5位 西島 薫美（2年）

熊本県レディース陸上大会（5月8日）
〈水前寺競技場〉
▽800m
7位 阪本 南（3年）

県高校総体（5月28～31日）
〈KKWING陸上競技場〉
▽100mH
優勝 藤本 優未（2年）
▽3000mW
3位 藤田 侑子（3年）
▽走高跳
3位 古川 彩香（1年）

高校総体陸上競技南九州大会（6月17～20日）
〈沖縄県総合運動公園陸上競技場〉
▽100mH
4位 藤本 優未（2年）

県ナイター陸上大会（6月26日）
〈水前寺競技場〉
▽100mH
2位 藤本 優未（2年）
▽円盤投げ
3位 西島 薫美（2年）
▽走幅跳
8位 古川 彩香（1年）

男子陸上部

熊本県高等学校総合体育大会（5月28～31日）
〈KKWING〉
▽100m
2位 赤崎 拓真（3年）
▽200m
6位 礒塚 裕也（3年）
▽1500m
3位 吉田 匡佑（2年）
5位 岡本 智集（3年）
▽5000m
3位 児玉 瑞樹（3年）
5位 高木 聖也（3年）
▽100mH
6位 吉住 康平（1年）
▽3000mSC
1位 渡邊 一磨（2年）
2位 根岸 成光（3年）
▽4×100mR
2位 瑞慶村昂生（1年）
伊豫 圭吾（1年）
礒塚 裕也（3年）
赤崎 拓真（3年）

高校総体南九州地区予選大会（6月17～20日）
〈沖縄県〉
▽1500m
4位 岡本 智集（3年）
5位 吉田 匡佑（2年）
▽5000m
3位 児玉 瑞樹（3年）
4位 久保田和真（2年）
▽3000mSC
3位 渡邊 一磨（2年）
▽4×100mR
4位 瑞慶村昂生（1年）
伊豫 圭吾（1年）
礒塚 裕也（3年）
赤崎 拓真（3年）

自転車競技部

平成22年度全九州高等学校体育大会・第43回全九州高等学校自転車競技大会（6月11～13日）
〈沖縄県総合運動公園自転車競技場〉
▽スプリント
8位 境 敬亨（3年）
▽1kmタイムトライアル
3位 大村 直輝（3年）
3位 大城 友樹（3年）
▽ケイリン
1位 藤森 貴之（3年）
▽4km速度競争
3位 大村 直輝（3年）
▽チームスプリント
2位 九州学院
8位
▽チームパーシュート
6位 九州学院

熊本県下高校ボクシング競技大会（4月10・17・18日）
〈熊本農業高校〉
Aパート
▽F級
優勝 山村 隆博（3年）
▽LW級
優勝 藤山 将平（3年）
2位 光永 健成（2年）
▽W級
優勝 澤江 将樹（2年）
2位 中川 弘太（2年）
▽Pi級
優勝 上田 兼将（3年）
2位 内田 洋介（3年）
▽B級
2位 楠田 賢人（3年）
Bパート
▽LF級
2位 矢野 悠貴（2年）

ボクシング部

第64回九州高等学校ボクシング競技大会（4月25～27日）
〈熊本県立体育館〉
▽学校対抗
第1位 25点
Aパート
▽F級
1位 山村 隆博（3年）
▽W級
1位 澤江 将樹（2年）
▽Pi級
2位 内田 洋介（3年）
Bパート
▽W級
1位 中川 弘太（2年）
▽LW級
3位 光永 健成（2年）

魁星旗全国高校剣道大会（3月29～31日）
〈秋田県立武道館〉
▽団体
優勝

大濠記念大会（6月13日）
〈福大体育館〉
▽団体
準優勝

剣道部

全国高等学校ダンスドリル選手権大会 九州大会出場会（6月13日）
〈えーるピア久留米〉

チアダンス部

平成22年度熊本県高等学校総合体育大会結果

九州学院は今年度の高校総体では、５団体が優勝に輝やき、６団体が準決勝をするなどのめざましい活躍をしました。また、個人でも優勝を含め、多くの選手が上位に入賞しました。

種目	総合・団体成績	個人入賞
陸上競技	学校対抗総合４位 学校対抗トラック1位 学校対抗トラック５位	【男子】100 M：②赤﨑、200 M：⑥礒塚、110㍍障害：⑥吉住、1500 M：③吉田、⑤岡本、5000 M：③児玉、⑤高木、3000 障害：①渡邊、②根岸、400㍍R：②九学 【女子】100㍍障害：①藤本、3000㍍競歩：③藤田、走り高跳び：③古川
水泳競技	男子学校対抗　優勝 （12年連続）	【男子】100 自:①福島、⑤田上、400 自:③米村、⑥村﨑、100 背:③菅原、④嶋谷、⑤益田、100 平：②松浦、④西浦、400 個メ：③中川 ⑤原本、100 バタ：①池端、④工藤　⑤藤本、400R：①九学　50 自：②田上、⑥吉田、200 自：①福島、③米満、⑥嶋谷、200 背:②中川、③菅原、⑤郷、200 平:③松浦、④西浦、⑥米満、200 バタ：①工藤、③藤本、④原本、200 個メ：①池端、⑤上村 1500：②米村、800 R：①九学　400 メドR：②九学 【女子】100 自：①宮本（大会新）　400 自：②弦巻、200 自：①宮本（県高新）　800 自：②弦巻
剣道	優勝（6年連続）	個人：①　辻（３年）
柔道	準優勝	66kg級 ③藏原、73kg級 ①森、90kg級 ②宮川、100kg超級 ②佐伯
空手	男子 優勝（3年連続） 女子準優勝	男子個人形：① 福山、④ 田上、男子個人組手：② 田代 女子個人形：②赤木、女子個人組手：②吉安、③赤木、松本
ボクシング	学校対抗優勝（4年連続）	ピン級：①内田、フライ級：①山村、バンタム級：③重石、ライトウエルター級：①藤山、②光永、ウエルター級：①澤江、②中川 ミドル級：①上田
卓球	準優勝	個人単：④藏原、個人複：③藏原・藤原
自転車競技	学校対抗優勝	1000㍍タイムトライヤル：①大村、②大城、③伊木、⑥瓜生 4000㍍速度：①大村、③森下、チームスプリント：①九学 3000㍍個人追い抜き、：①大村、③大城、⑤西島、4000㍍団体追い抜き　①九学　男子スクラッチ：、①　藤森、⑤森下　ケイリン　②藤森、③伊木、⑥瓜生　ポイントレース：③大城、⑥森下　スプリント：藤森　ロード：①藤森、④大村、⑤森下、⑥大城

種　目	総合・団体成績	種　目	総合・団体成績
バドミントン	３位	バレーボール	［男子］２回戦 ［女子］２回戦
ハンドボール	準優勝	テ　ニ　ス	［男子］３回戦 ［女子］１回戦
バスケット	準優勝	ソフトテニス	３回戦
ラ グ ビ ー	準優勝	弓　　道	決勝リーグ４位
サ ッ カ ー	１回戦		

ミズーリ号の通訳・竹宮氏が逝去

～歴史の大舞台の生き証人～

竹宮帝次氏は1923年（大正12年）にロサンゼルスで日系三世として生まれ、1939年、高まる排日運動を危惧し両親と共に帰国し、旧制九州学院中学に通いました。戦前は多くの日系二世が祖父母の国を訪れ、日本の学校で教育を受けており、九州学院でも多くの日系二世を受け入れましたが、日米対戦が勃発すると彼らはアメリカに帰れなくなっただけでなく、日本軍に徴兵されました。

竹宮氏は、1940年に青山学院に入学しましたが、同年12月1日に海軍に召集され、1945年には21歳の海軍少尉として小型潜水艦に乗り、特攻命令を待っていました。しかし、終戦前に無線傍受のために軍司令部に異動、その後重要な役割を任される運命となるのです。

終戦から数日後の1945年8月27日、相模湾沖に連合艦隊の艦船430隻が集結し、降伏文書調停式の事前折衝が行われました。その時、なんと竹宮氏は日本政府の命を受け、たった一人の通訳として日本海軍大佐二人とで旗艦ミズーリ号に乗り込み、米国第3艦隊カーニー少将をはじめとする連合軍側との重要な会議の通訳にあたったのです。

この時の竹宮氏の働きが評価され、戦後は横須賀米軍基地に勤務することとなり、1997年までの52年間28名の歴代の司令官のもとで働きました。

晩年は東京郊外で静かに暮らしておられましたが、2010年4月30日に86歳でお亡くなりになられました。先輩の偉業を讃えるとともに、心よりご冥福をお祈り致します。

****

インタビューに応える竹宮氏（2009年10月）

来年百周年を迎える九州学院では、来年秋にTKUで特別番組の計画を進めていますが、その番組の取材のため昨年10月に竹宮氏を訪ね、当時のお話をお伺いしてきたばかりでした。

9月2日に同じミズーリ号上で行われた降伏文書調印式で、マッカーサー司令官付きの情報士官として通訳にあたったトーマス・トキオ・坂本氏。さらに、日本側全権の重光葵外相の通訳の和田隆太郎氏も共に九州学院の卒業生であったことは驚きです。

来年秋にTKUで放送される「九州学院創立百周年の記念番組」の中で、歴史の大舞台で活躍した先輩にスポットが当てられます。是非、ご期待下さい。

同窓会のページ

2010 大同窓会に六百名

2010年度の大同窓会が、4月23日（金）にホテル日航熊本で開催されました。懇親会に先立ち、総会が開かれ、2009年度の活動報告・会計報告等が行われました。また、2010年度の活動計画・予算案等を審議・可決しました。

当日は東京をはじめ各地から同窓生が参加し、およそ600名の盛大な集いとなりました。また、30人近く集まった新卒がステージで紹介され、華やかな大同窓会となり、大盛会のうちに終えることができました。ありがとうございました。

百周年記念事業募金第二回決起集会 大いに盛り上がる

6月4日（金）夜、鶴屋に隣接する麦菜館で「九州学院創立百周年記念事業募金第二回決起集会」が開かれました。会には各学年の募金委員など約90名が参加、記念すべき創立百周年のお祝いを成功させようと、母校愛に燃える卒業生の熱い想いで会場は大いに盛り上がりました。

長岡九州学院理事長、松村同窓会会長、土山元院長・募金委員長の挨拶のあと、平成音楽大学管弦打楽器コース主査・柏尾剛徳氏（S37回）のトロンボーンの演奏（ピアノ伴奏・ふき子夫人）があり、浅川同窓会副会長の乾杯の音頭で懇親会に移りました。先輩後輩が世代を超えて百周年の想いをひとつにいつまでも話しが尽きず、お名残惜しい第二回の決起集会となりました。

伝統の東京九学会 大先輩に花束贈呈

去る5月22日（土）、東京グランドホテルにて、平成22年度九州学院関東支部東京九学会会員総会・懇親会が開催されました。参加者は、80名と、昨年を上回り、学院・熊本より、長岡立一郎理事長、池永清事務長、小崎義昭同窓会参与、浅川牧夫副会長、岩崎修牧師ら来賓のご出席を得ました。

総会は連川悠一会長（S11）から、本会活動方針の表明、次いで来賓方からご挨拶を頂き、学院の現況の報告があり、創立100周年記念事業、少子化・公立高校授業料無償化時代に同窓会が果たすべき役割等が語られました。

懇親会は冒頭に岩崎先生の聖書朗読（マタイによる福音書5章13―16節）〝あなたがたは地の塩である・・・〟と九州学院で学んだ意義についてのお話がありました。

斉藤征一郎神奈川支部長（S12）の乾杯の音頭で始まり、S5回以上の先輩会員に若き女性会員から花束贈呈。新卒・現役学生男女11名の紹介などもあり、和気あいあいとしたムードの中で楽しいひと時を過ごしました。

関西支部若手の会「関若会」を開催

九州学院同窓会関西支部の若手の集い「関若会（かんじゃくかい）」が、7月3日（土）午後6時より京都西京極の「お好み焼き日の出」で開かれました。

会には今年同志社大学に入学した12人の新卒を中心に16名の若手が集まり、同志社大学OBでもある成房相談役をはじめ約10名の関西在住の九学先輩方が一同に会して親睦を深めました。

この会は、同窓会関西支部の有志が、「若い九学卒業生を励ましたい」という純粋な気持ちから企画されたもので、今後も定期的に開かれる予定です。関西地区の同窓の皆様のご参加を宜しくお願い致します。

関西支部の総会と懇親会は毎年春に大阪で開催されています。（お問い合わせ先：原田敬策0742―49―5918）

九学OBゴルフコンペに200人

6月3日、城南カントリークラブに約200名の同窓生が集まり、「第5回九州学院OBゴルフコンペ」が開催されました。このコンペは同窓会員相互の親睦を深める目的で毎年6月に開かれています。今年は中山竜一氏をはじめとするS38回生が幹事を担当しました。またこのコンペでは毎回チャリティーホールを設け、益金は学院に寄付しております。来年も6月に開催を予定していますので、同窓生の皆様奮ってご参加ください。

阿蘇郡市OBゴルフコンペを開催

7月17日、コスギリゾート阿蘇ハイランドゴルフコースで「第1回阿蘇郡市同窓会合同ゴルフコンペ」が開催されました。待ち望まれていた小国郷・阿蘇中部・阿蘇南部、3支部合同のイベントがこの日実現しました。

県庁九学OB会 新会長に加来氏

6月22日、ホテルキャッスルに県議4人を含め約20名が参加し、県庁九学OB会が開催されました。初めての女性会員も参加した和やかな会でした。また総会では加来重文氏（S23回）が新会長に就任しました。

奨学金授与式・励ます会を開催

5月17日に奨学金授与式が行なわれました。内村院長の挨拶の後、同窓会育英奨学委員長の米村嘉人氏（S8回）が励ましのメッセージを贈り、ひとりひとりに奨学金（4、5月分）を手渡しました。なお、今年度は中高合計で奨学生33名、給費生6名が在籍しています。また、6月28日には「奨学生・給費生を励ます会」を会議室で開催し、昼食を挟みながら、同窓会役員と奨学生・給費生との交流を行いました。

増村寛氏（S7回）鶴屋で絵画個展

増村寛氏が8月11日から17日まで、鶴屋百貨店で個展を開催します。

また、展示の一部を九学に寄贈したいとのお申し出がありました。氏は元・暁星学園（東京）の美術科教師で、現在藤沢市に在住。

平成22年度春の叙勲で、元公立小学校長宮田正直氏（S3）が瑞宝双光章、元阿蘇郡市歯科医師会長の高森經義氏（S8）が旭日双光章をめでたく受章されました。

7月20日（火）午後7時からホテルキャッスルで九州学院同窓会主催でおふたりの受章祝賀会が開かれます。

各地の同窓会

5月8日　荒尾玉名地引き網大会
22日　東京九学会
7月10日　八代九学会
17日　阿蘇地区合同ゴルフコンペ
9月4日　母校対抗ゴルフ大会
連絡先　同窓会事務局

NIE（教育に新聞を）のトップ2人は九学OB

6月7日、県NIE推進協議会総会が開かれ、新会長に池邉利昭県小学校会長（大江小学校長・S22回）が、副会長に眞開純洋県立公立高等学校会長（済々黌高等学校長・S21回）が選ばれました。同協議会は県の教育界と新聞界が一体となってNIE（教育に新聞を）を進めようと2005年に発足した組織です。今年は7月29日・30日に熊本で全国大会が開催され、池邉氏は全国大会・熊本大会会長も兼ねることになります。

OGの有村智恵が今季初、通算7勝目！

4月11日、兵庫・花屋敷GCよかわCで行われた、スタジオアリス女子オープンで、九州学院OGの有村智恵がプレーオフを制し、今季初優勝を果たしました。

有村は前半2つスコアを伸ばし、通算5アンダーの単独首位で折り返しましたが、後半はスコアを伸ばせず、1打差で追っていた朴仁妃（韓国）に並ばれました。最終18番、両者ともパーに終わりプレーオフへ突入し、有村は確実にパーセーブとし今季初優勝、通算7勝を挙げ、賞金1080万円を獲得しました。

ハンドボール元日本代表、九州学院OBの中川主将が引退

ハンドボールの元日本代表北京五輪予選で主将を務めた、九州学院OB中川善雄氏は、今年4月に所属先の大崎電気とのプロ契約を終了し、現役を引退しました。

中川氏はアテネ五輪予選から日本代表で主将を務め、攻守の要として活躍してきました。また自身が発起人となりNPO法人を設立し、スポーツ教室を開き、スポーツの普及活動にも大きな貢献をしてきました。

田山敦朗氏（S25回）が熊本市の「わくわく親善大使」に

九学OBで世界的なファッションデザイナーの田山敦朗氏（S25回）が、熊本市の「わくわく親善大使」に選ばれ、3月26日に市役所で幸山市長から委嘱状を交付されました。

「わくわく親善大使」の委嘱は、県出身の著名人に熊本を広くPRをしてもらおうと、昨年10月に始まったもので、同じ九学OBの陸上の末續慎吾や歌手の八代亜紀らにも委嘱しているものです。

田山氏は、全日空（ANA）の制服や肥後銀行の制服なども手がけ、ATブランドとしてフランス（パリコレ）や中国にも進出するなど、今や世界の田山として大いに活躍中です。もちろん、九州学院の素晴らしい制服も誇りあるATブランドです。

九州学院みどり幼稚園だより
「生命力が躍動する季節」

みどり幼稚園の門を入るとすぐに花壇があり、色とりどりの可愛い花が沢山咲いて園児たちを毎日迎えてくれています。

新年度も始まって三か月が過ぎ、その間、77名の園児たちもすっかり園生活に馴染み毎朝、礼拝から始まり、各教室ではお絵描き、図工などを楽しみ、また園庭の砂場では泥んこ遊びに夢中になっている園児たちの姿を見ることができます。いつの時代もそうなのかもしれませんが、私たち大人にとって子どもたちは次の時代を担う希望です。

というのも子どもたちは無限の可能性を秘めた宝物だとつくづく思うからです。とくに純粋で柔らかな心を持ち合わせ、いろいろなものを受容する心を持っています。そして何と言っても生命力に満ちています。4～6月にかけて自然の草花や種々の昆虫をとおして生命が生きづいていることに園児たちも気づき、それを肌で体感しています。みどり幼稚園の園児たち一人ひとり、神さまから頂いた「生命力」を躍動させながら日々、成長していることに感謝し、また楽しみにしている今日この頃です。

（園長　長岡立一郎）

理事会だより

去る3月24日に理事会評議員会を開催、平成22年度の事業計画、収支予算について慎重に審議を行い、承認可決しました。また5月27日開催の理事会・評議員会において、平成21年度事業報告、決算報告をいずれも承認可決しました。なお、7月から百周年記念事業の一般企業への募金活動を本格化します。みなさま方のご協力をお願いいたします。

2009（平成21）年度決算概要

資金収支計算書　H21.4.1.～H22.3.31.（単位千円）

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	697,459	人件費支出	800,763
手数料収入	10,568	内（教員人件費支出）	656,716
寄付金収入	71,157	内（職員人件費支出）	115,874
補助金収入	412,248	内（退職金支出）	28,173
内（国庫補助金収入）	20,310		
内（熊本県補助金収入）	380,961	経費支出	241,138
内（国市町補助金収入）	10,977	借入金等利息支出	4,353
その他の収入	92,790	借入金等返済支出	102,070
借入金等収入	100,000	施設関係支出	79,167
前受金収入	59,920	その他の支出	82,200
資金収入調整勘定	△95,804	資金支出調整勘定	△51,185
前年度繰越支払資金	128,978	次年度繰越支払資金	218,810
収入の部合計	1,477,316	支出の部合計	1,477,316

消費収支計算書　H21.4.1.～H22.3.31.（単位千円）

消費収入の部		消費支出の部	
科目	金額	科目	金額
帰属収入合計	1,199,087	人件費および経費	1,122,168
基本金組入額	△114,347	内（減価償却額）	107,023
		その他の支出	7,160
消費収入合計	1,084,740	消費支出合計	1,129,328
		当期収支差額	△44,588

賃借対照表　H22.3.31.現在（単位千円）

資産の部		負債、基本金、消費収支差額の部	
科目	金額	科目	金額
固定資産	2,821,619	固定負債	278,421
流動資産	256,716	流動負債	244,413
		基本金	3,910,302
		消費収支差額	△1,354,801
合計	3,078,335	合計	3,078,335

九中コーナー

韓国・木浦（もっぽ）の文泰中34人が、九中を訪問

4月19日（月）の午前中、韓国・木浦（もっぽ）にある九州学院の姉妹校文泰学園の中学生34人が、九州学院中学校を訪れました。今回は文泰中2年生が4泊5日の海外研修で福岡、長崎両県に続き九中を訪問したものです。

当日はお互いに合唱を披露したり、ドッジボールやサーカーの試合をするなどして親睦を深めました。

九州学院と文泰学園は1991年以来、教師や生徒が相互訪問をして交流を続けています。

この日は、同校のムン・イクスーン理事長も来校され、なじみの教職員たちと懐かしげに談笑されていました。これからも末永く両校のお付き合いが続きますように！

各部大会成績

宮本武蔵旗杯で2連覇

第14回剣聖宮本武蔵旗全国小・中学生剣道大会
（4月24日～25日）

中学男子の部
優勝　九州学院中学校A
大熊　勇輝（3年）
漆島　伊織（3年）
藤﨑　大樹（3年）
曽我　貴昭（3年）
真田　裕行（3年）

個人　中学3年男子の部
優勝　曽我　貴昭
準優勝　大熊　勇輝

個人　中学2年男子の部
優勝　持原　光希
準優勝　井戸慎太朗

個人　中学1年男子の部
準優勝　佐藤　祐太
3位　本間　渉
3位　黒川　皓平

〈柔道〉

山鹿温泉祭協賛柔道大会
（4月25日）

女子ビギナーフリー
3位　岩永　実奈（1年）
女子63kg級
準優勝　清田麗衣（2年）
男子55kg級
優勝　米村　克麻（3年）

〈水泳〉

第42回西日本年齢別選手権水泳大会
（5月22日）

男子11歳・12歳
100m平泳ぎ
優勝　鮫島　悠輔（1年）
50m平泳ぎ
優勝　鮫島　悠輔（1年）
男子13歳・14歳
400m自由形
優勝　瀬戸口裕嗣（3年）
200m自由形
優勝　瀬戸口裕嗣（3年）
男子100m平泳ぎ
優勝　鮫島　悠輔（1年）

〈卓球〉

熊本市中学生卓球大会
男子シングルス
5位　入杉　周作（3年）

第20回熊本県中学校水泳競技大会
男子200m平泳ぎ
優勝　鮫島　悠輔（1年）
男子400m自由形
優勝　瀬戸口裕嗣（3年）
タイム　県中学新
男子200m自由形
優勝　瀬戸口裕嗣（3年）
大会新記録
男子100m平泳ぎ
優勝　鮫島　悠輔（1年）

〈卓球〉

熊本市中学生卓球大会
男子シングルス
5位　入杉　周作（3年）

英語検定試験

平成22年度第1回英語検定試験が6月11日（金）に行われました。今回は、希望者のみ、35名の生徒が受験しました。1次試験の合格者は以下の通りです。

5級　6名　　4級　7名
3級　10名　準2級　2名

第10回ミズーラ英語劇場
「オズの魔法使い」

第10回ミズーラ子ども英語劇場の公演が4月24日に3号館ホールにて行われました。小学生31名と中学生31名の合計62名が、個性あふれる演技を披露しました。今年はモンタナ州のミズーラからジェフリー・レイノルズさんとリンダ・モントラゴンさん夫婦が演劇の指導のため来日しました。

新入生120名を迎え、全校で349名になりました。

4月9日（金）、体育館で平成22年度入学式が高校と合同で行われました。男子73名、女子47名が、新たに九州学院中学生の仲間入りを果たしました。新入生が2年生になるとき、九州学院は創立100年を迎えます。新入生が九州学院のさらなる飛躍の原動力となってくれることを期待しています。

部活動名	熊本市中体連試合結果
柔道	団体　男子　準優勝　　女子　準優勝 個人戦（男子） 50kg級　3位　中村　将也　ベスト8　藤本　聖征 55kg級　3位　米村　克麻　ベスト8　池田　元 60kg級　準優勝　原田　楽太 66kg級　ベスト8　御手洗　諄也・松尾　昇汰 73kg級　優勝　園田　剛史 81kg級　3位　合瀬　勝緒　3位　境　祐希 90kg級　優勝　坂田　大起 （女子） 48kg級　3位　佐藤　ゆき 52kg級　優勝　上田　奈那 57kg級　3位　岩永　実奈 60kg級　ベスト8　田中　勇気 63kg級　優勝　清田　麗衣
剣道	団体　優勝 個人戦 代表男子　優勝　曽我　貴昭　3位　真田　裕行 二年男子　優勝　井戸　慎太朗 一年男子　優勝　佐藤　祐太　3位　本間　渉
弓道	団体 個人戦（男子） 準優勝　水野　航佑　3位　光永　亨奨 4位　原井　大空 個人戦（女子） 4位　西　祐花子　6位　尾田　瑠衣
テニス	男子シングルス　3位　中島　弘陽（3年）
卓球	男子個人戦　7位　入杉　周作（3年）
水泳	男子400mフリーリレー 3位　（瀬戸口、松原、鮫島、嶋田） 男子50m自由形　優勝　瀬戸口　祐嗣 男子100mバタフライ　優勝　瀬戸口　祐嗣 女子100mバタフライ　7位　樗木　知恵 50m自由形　9位　松原　圭吾 50m　7位・100m　5位　松本　穂乃佳 100m平泳ぎ　2位　鮫島　悠輔 200m個人メドレー　3位　鮫島　悠輔
新体操	ボール、クラブに出場 学年別　1年の部　2位

九重町で全校キャンプ

6月2日（水）から4日（金）にかけて大分県九重町の泉水キャンプ場で全校キャンプを実施しました。今年は梅雨の時期にもかかわらず天気に恵まれ、楽しい時間を共有することが出来ました。薪を使っての飯ごう炊飯でカレーや焼きそばをつくり、大自然の中でみんなで楽しく食べました。また久住山のふもとの長者原まで遠足、現地ではスケッチ大会も行いました。今年もまた、御世話になった人への葉書を書き、キャンプの楽しさを伝えることが出来ました。このキャンプを通じて、友達の輪が一層広がり、団結力を強めることが出来たのではないでしょうか。

育友会

2010年度定期総会 島本深会長を再任

約500名が出席

九州学院育友会の2010年度春の定期総会が、5月21日（金）午後から九州学院ブラウン・メモリアル・チャペルで開催されました。

総会は富島チャプレンによる聖書朗読・祈りに始まり、島本会長、内村院長の挨拶の後議事に移りました。平成21年度行事・決算等の報告の後、新役員を選出し行事や予算案の審議をしてお開きとなりました。新しい役員は次の通りです。

〈役員〉（敬称略）

会長　島本　深
副会長　後藤　恵
副会長　西牟田孝也
副会長　長尾　浩一
副会長　林　祥増
書記　古庄　博子
書記　吉本　孝寿
会計　入杉賀洋子
会計　西尾　由美
監事　蔵原　啓介
監事　寺本　光秀

〈常任委員長〉

企画委員長　木村　昭彦
財務委員長　林　祥増
会員交流委員長　小林　正一
保健体育委員長　藤本　聖二
教護委員長　河崎　公蔵
広報委員長　蔵原　啓介

この日は、中学校は午前中に授業参観が行われ、夜には「ホテル日航熊本」においてクラス役員などの新旧役員の歓送迎会も開かれ、教職員、保護者160人が集い懇親のひと時があたえられました。

2010年度育友会関係行事予定

4月　入学式・入寮式
　　ミズーラ子ども英語劇場公演
　　新・旧役員会
5月　育友会総会（21日）
　　・J授業参観（2、3限目）
　　・学級懇談会
　　・J2・S2研修旅行説明会
　　・新旧役員・委員歓送迎会
6月　市高等学校PTA連合会第一回総会（25日）
7月　中学校保護者懇親会
　　高3保護者懇親会
　　三者面談・家庭訪問
9月　体育祭（11日）
10月　市高等学校PTA連合会生活指導連絡協議会（15日）
　　育友会秋の講演会
　　・J・S授業参観（2、3限目）
　　・学級懇談会
　　・地区懇談会
　　九学祭（バザー）（29日～30日）
11月　県私学振興大会
　　キリスト教特別伝道週間
12月　クリスマスツリー点灯式
　　クリスマス燭火礼拝
1月　創立記念講演
2月　市高等学校PTA連合会第二回総会（10日）
3月　卒業式　祝賀会（中・高）
　　次年度役員指名委員会

進路室だより

大学合格総数は325名

今春の卒業生（371人）の進路状況は次の通りです。4年制の大学進学70%、短大2%、専修・各種学校15%、予備校・その他が13%となっています。大学の合格者数（過年度生含む）は、防衛大も含めて325名でした。その中でも特筆されることは、同志社大には、連携ネットワーク推薦入試（九学との間の特別推薦制度・昨年の枠20人）や一般入試を通して、現役で17名が進学したということです。その他の主な合格大学としては、国立大では、熊本大、筑波大、東京外国語大、九州大、鹿児島大、熊本県立大などがあり、私立大では、ICU（国際基督教大）、明治、法政、中央、青山学院、関東学院などの関東の有力大学や、九州の西南、福大、APUなどに進学しました。

この数年、九学の傾向として、指定校推薦入試を中心とする推薦入試での大学進学者数が増えています。3年間クラブ活動と勉強の両立を図りながら頑張り抜いて、誇りをもって自分の進むべき進路を選び取ったとすれば、それは喜ばしいことです。一方で第一志望の大学進学を目指して、3月中旬に実施される国公立大後期入試までチャレンジし続ける生徒が少なからずいることも、喜ばしいことであり、私たちの誇りです。

一度だけの人生です。どの受験方法を取るにしても、社会に出た時に、隣人に奉仕のできる「役に立つ善人」として人生を切り拓いていけるように、また、一生懸命にチャレンジする気持ちを持ち続けられるように、私たちは、生徒一人ひとりを大切にして誠心誠意サポートをしていきたいと思っています。（進路部長・阿部英樹記）

7月6日（火）に進路部主催で、九学ホールで行われた保護者と生徒を対象にした大学合同説明会（同志社・熊大など20大学が参加）

職員異動（敬称略）

〈退任〉

木戸　征一郎（英語）

九州学院のOBで、1991年の共学への移行の際に27年勤務した公立高校より招聘。以来、約20年間母校で英語を担当。趣味の卓球は、全国教職員大会に毎年出場するほどの腕前でした。

木戸征一郎先生

木村　吉孝（数学）

〈新任〉

グラント・ニールセン（英会話）
カロン・ハロウエイ（英会話）
ジェイムズ・カーター（英会話）
マシュー・ホッファー（英会話）
濱岡　邦子（英語）
石野　菜都子（英語）
田方　玲子（体育）
坂本　久（美術）
池本　幸子（養護）
丹羽由貴恵（幼稚園）
山崎　由紀（幼稚園）

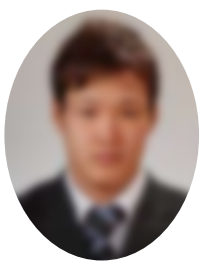
ダグラス・フォスター（英会話）

スーザン・ヴィロネン（英会話）

元杉　光秀（社会）
本田　拓也（数学）
中村　耕二（英語）
藤田　真生（英語）
川島　慧美（英語）
貞永　真澄（体育）
村田　雅彰（寮監）
林　浩（美術）
中山　弘美（養護）
村上　レイ子（幼稚園）
塚本　友美（幼稚園）
山中　久美（幼稚園）

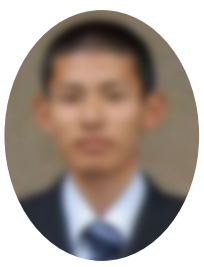
ジュニア・パンパシフィック 池端が日本代表に決定

日本水泳連盟は、第4回ジュニア・パンパシフィックの日本代表の一人に池端宏文選手（高3年）を選考しました。この大会は毎年8月にハワイで開催され、今年で4回目を迎えます。池端選手はバタフライを得意とし、今年も日本選手権で高校生ながらバタフライ50㍍で5位に入賞するなど、これまでの記録を次々と塗り替えるなど、ジュニアのトップスイマーとして注目を集めています。



ユースオリンピック 2010アジア地区予選 久保田選手が五位に

「ユースオリンピック2010・アジア地区予選大会」が5月22日から24日までシンガポールで開かれ、久保田和真選手（高2）が日本代表として2000mSC（障害）に出場し、6分19秒32の成績で5位に入賞しました。久保田選手には、夏の全国インターハイや冬の全国高校駅伝大会での活躍が大いに期待されています。



火の国旗空手 女子が準優勝、男子も5位入賞

5月4日に熊本市総合体育館で開かれた第27回火の国旗全国高校空手道優勝大会（県空手道連盟・熊日主催、県高体連共催）で女子の九州学院チームは準優勝、男子は5位（ベスト8）に入賞しました。

女子は一昨年優勝、昨年も準優勝しており、今年は女王奪還を目指しての出場でした。決勝戦は昨年同様強豪宮崎一との再戦となりリベンジに燃えて張り切る九学チームでしたが、試合巧者の先鋒橋本選手一人にしてやられ、残念ながら連破を許しました。

男子は準々決勝で先鋒の田代が4人を連破し、最後の一人も終盤までポイントでリードしましたが、逆転負けとなりました。

男女チームとも全国レベルの安定した力があり、沖縄インターハイでの活躍がこれからも大いに期待されます。

日韓親善スポーツ交流会 九学剣道部・卓球部が参加

2010年度「日韓親善スポーツ交流会」が韓国忠清南道牙山市で行われ、九州学院剣道部・卓球部の代表選手も参加するために7月1日から4日まで韓国に渡りました。この交流スポーツ大会は両国の競技力向上と親睦を目的に、財団法人熊本県体育協会の主催で一年おきに熊本市か牙山市で行われているもので、今年で26回目を迎えます。

〈参加者〉

卓球部
藏原　良介（高3年）
藤原　葵（高2年）

剣道部
東郷　知大（高3年）
古田　和久（高3年）
榎本　雄斗（高3年）
辻　菖太（高3年）

空手女子組手 吉安選手が2位に

3月27日、宮城県セキスイハイムスーパーアリーナで開催された、第29回全国高校空手道選抜大会の最終日、吉安珠貴（3年）が女子個人組手で準優勝しました。

徳王グラウンドに新ラグビーグラウンドが完成 4日にお披露目式

九州学院徳王グラウンドに新ラグビーグラウンドが完成し、4月4日（日）に落成式が行われました。

ラグビー部はこれまで大江の九州学院のグラウンドで練習をしていましたが手狭となり、このたび徳王グラウンドを改修し、新しい練習場に移ることになりました。

落成式の後、「第2回楕円倶楽部ラグビー祭」と銘打ち、沢山のOB・保護者、宮崎県の強豪高鍋高との招待試合が行われ、九州学院が36対14で高鍋高校を下しました。

まさに「九学ファミリー」

～兄弟姉妹が66組～

現在、九州学院には、6組の双子の生徒たちがいます。兄弟姉妹の在籍者が多く、今年はその人たちを含めて66組、137人もいます。3人のご家庭もいくつかありますし、二代、三代にわたって通学している生徒や、親子で九学に来ている人たち（親が教職員）も多数います。

九州学院はまさに「九学ファミリー」という言葉がぴったりです。

百年の想い世代を超えて

～九州学院は2011年に百周年を迎えます～

KAB 「私立高校に行ってみよう！」 7月17日(土)12時オンエアー

6月15日（火）に制作行ってみよう！」が7月ロケが行われた、KAB 17日（土）にオンエアーテレビ番組「私立高校に の予定です。7月17日（土）（12時から12時55分）

各校のレポーターを中心にPRビデオ（7分）を制作し、黒木よしひろ氏が各高校（6校）からのレポーターをスタジオに招き、みんなでお互いのビデオを観ながら学校を紹介するといった内容の番組です。総文祭でも活躍した、九州学院放送部長の佐藤智恵（3年）さんのプロ顔負けのレポーター役にご期待下さい。

NHK杯 放送コンクール 石原君が全国大会へ

6月13日に熊本県立第二高校で行われた、NHK杯全国高校放送コンクール熊本予選で九州学院放送部のメンバーが、それぞれの部門で活躍しました。

朗読部門で、石原昴尚君（高3）が二位に入賞し、アナウンスの部門では佐藤智恵さん（3年）、上田綾乃さん（3年）、小川陽子さん（2年）が決勝に進出しました。

石原君は7月22日から25日まで東京のNHKホールで行われる、NHK杯全国高校放送コンクールに熊本代表として出場します。

オーストラリアの姉妹校 インマニュエル高校から訪日団

7月5日、オーストラリア・アデレード市にある姉妹校・インマニュエル・カレッジの高校生12名と引率教師2名が熊本を訪れました。2年に一度の定期交流で、全員ホームステイをして、九州学院と交流を行いました。九州学院の生徒とは主に授業体験を通して交流を行い、また、7月7日にはみどり幼稚園とも交流を行いました。幼稚園では、ゆかた姿で七夕の行事を楽しむことができました。その他市内観光、阿蘇観光等、盛りだくさんの体験の中で日本の文化や食文化を堪能し、一行は、13日に福岡空港からオーストラリアへの帰途につきました。

お世話いただきましたホストファミリーの皆さまに心から感謝申し上げます。

8月に豪州語学研修団 ルーテル合同で

8月1日から2週間、ルーテル学院と合同の「オーストラリア語学研修旅行」を実施致します。アデレードでホームステイしながらの学校訪問が中心で、シドニーでの観光も計画されています。九州学院から7名、ルーテル学院からは25名の生徒と、それぞれ1名の教師が引率として参加します。実のある研修旅行となりますように。

森崎君総文祭で優勝！ 竜王戦でも2連覇

「第22回県高校総合文化祭」の最終日の5月29日、水前寺共済会館で行われた、囲碁・将棋部門で森崎盛一朗君が昨年に続き見事優勝をし、今年も熊本県の代表として夏の全国高校総合文化祭に出場することになりました。

また、第23回全国高校将棋竜王戦の県大会が7月4日に県教育会館で開かれ森崎君が2連覇し、8月に福岡で行われる全国大会に出場します。

総文祭、合唱部 三年連続出場

5月29日（～30日）に県立劇場コンサートホールで行われた、第22回熊本県総合文化祭ヴォーカルアンサンブル部門に、合唱部が三年連続で出場しました。「生徒一人一人が県代表としての誇りと自信をもって、心ひとつに演奏することが出来ました。多くの皆様に来て頂き感動のステージとなりました。」（顧問談）

文芸部が優良賞

平成22年度第27回熊本県高等学校文芸誌コンクールで文芸部が発行した「九学春秋」第8号が優良賞を受賞しました。

また、「自分だけの物語」を書いた谷川由真さん（高2）が若楠賞を受賞しました。

2010 チャリティーコンサート熊本を開催

6月26日（土）の夕刻、九州学院3号館多目的ホールで「2010チャリティーコンサート熊本」が開かれました。

このコンサートは、難病の子どもたちを支援するボランティア団体メイク・ア・ウイッシュ オブ ジャパン（MAWJ）福岡支部が主催するもので、収益はすべて子どもたちの夢をかなえるための活動に使われます。

この日はゲストに迎えたSmooth&rockデュオの「indigo blue」が、多くの観衆を前に楽しい演奏を披露しました。また、九州学院合唱部も特別出演し、美しい歌声を聴かせてくれました。

新生ブラスバンドチャペルでコンサート

6月19日（土）の夕刻、新生九州学院高校ブラスバンドの「第一回定期演奏会」がブラウン・メモリアル・チャペルで開かれました。約120名の保護者、生徒、卒業生などを前に、室永・青井先生の指揮で「ラデッキー行進曲」、「ラプソデー・イン・ブルー」など約10曲を演奏しました。

ある年配の卒業生は、「私の学生時代に活躍した、伝統ある名門九学ブラスバンドが復活したことは何よりも嬉しいことです。」と、感慨深そうに話しておられました。

2010教育講演会

「赤十字の支援活動の経験から」 講師は浦上友美さん

6月19日(土)9時から本校体育館において、中高全生徒を対象とした恒例の「教育講演会」を行いました。

一昨年の「命の教育」、昨年の「命の重さ」に続き、本年は『原点を見据えて、思いやりのこころ』をテーマにして、熊本赤十字病院救命救急病棟勤務されている浦上友美さんを講師にお迎えし、「尊厳ある生と死への援助を目指して、～赤十字支援活動の経験から～」という演題でお話をして頂きました。

浦上さんはタンザニアのルグフ難民キャンプにおいて約5カ月間、難民に対する予防接種や乳幼児への栄養供給などの保護活動、今年2月のハイチ地震においては、現地で6週間の医療活動に参加されるなど大きな働きをされました。

講演では、パワーポイントを用いてたくさんのスライドを示しながら、それらの貴重な体験を話され、「まずは外のニュースに目を向けて、今世界で何が起こっているかに関心を持って欲しい」と、生徒たちに熱心に呼びかけられました。

九州学院広報委員会
緒方　徹・田端　圭二
池永　清・内田　俊明
木下　敬史・村上　洋也
山崎　哲央・磯田　一成
藤本　尚美・小手川　勲